

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 8 年度 阿蘇立野ダム河川域モニタリング業務
業 務 概 要	計画準備 1式 河川域等環境モニタリング調査 1式 調査結果等とりまとめ及び総合評価 1式 報告書作成 1式
契約担当官等の氏名並びにその 所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 和田 賢哉
契 約 年 月 日	令和 8 年 4 月 1 日
契 約 業 者 名	(株) 建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名 2 - 4 - 1 2
契 約 金 額	4 8 , 9 9 4 , 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	4 8 , 9 9 4 , 0 0 0 円 (税込み)
随意契約によることとした理由	
業 務 場 所	熊本県阿蘇郡南阿蘇村外
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 8 年 4 月 1 日
履 行 期 間 (至)	令和 9 年 3 月 3 1 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和8年度 阿蘇立野ダム河川域モニタリング業務

2. 履行場所 熊本県阿蘇郡南阿蘇村外

3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名2-4-12
会社名：(株)建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、立野ダム事業区域周辺におけるダム供用後の環境モニタリングを行うものであり、河川域における動植物への影響を把握するための調査及び評価を行う業務である。

2) 業務の内容

計画準備、河川域等環境モニタリング調査、調査結果等とりまとめ及び総合評価、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を25者が入手（ダウンロード）し、3者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「供用開始後の流水型ダムにおける河川域の環境分析・評価を実施する上での留意点」に係る技術力を備えていると判断された。

特に評価テーマの「供用開始後の流水型ダムにおける河川域の環境分析・評価を実施する上での留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、総合的に最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 河川管理課長